



□ □ □ 目次 □ □ □

1 医療安全事例

◇ 医療機関での冷蔵庫の管理 ～医薬品用保冷庫の環境～

2 医療安全情報

◇ 平成22年度第2回横浜市立病院等  
安全管理者会議内容のホームページ掲載について

★ 1. 医療安全事例 ★

●●●\*\*\* 冷蔵庫の妖精 \*\*\*●●●

我が家には冷蔵庫が3つ。

家庭用冷蔵庫と小さめの冷蔵庫。最後は父の牛乳専用簡易冷蔵庫。  
父の変わった冷蔵庫はおいといて・・・

2つ目の冷蔵庫、本来は保存食用なのですが、1つ目の冷蔵庫からあふれた  
ものがぎっしり入っています。

ぬか床、梅酒、乾燥わかめ、、、

冷蔵庫に入れる必要があるのだろうか??というものが多数。。

詰めすぎで奥の方は見えず、期限切れの食品もたくさん。

保存食でないものが保存食に・・・。

きつとかなりの電気使用量。ちゃんと冷えてるのかしら。

そして、中身のせいじゃないけれど、ドアの閉まりが悪く、  
下段の冷凍庫を閉めると、冷蔵室のドアが開く・・・。

と、ここまでは我が家の恥ずかしい話ですが、

冷蔵庫といえば、我々が立入検査などで医療機関に伺った際に拝見します。大部分の医療機関では、きれいにきちんと管理されていますが、気になる冷蔵庫もたまに見かけます。

- ・医薬品の冷蔵庫に患者さんの給食やスタッフの飲み物が入っている。
- ・いつ開封し、どの患者さんが使用したのか分からない点眼薬が入っている。
- ・針が刺さったままの輸液ボトルが保管されている。
- ・温度計が10℃以上を示していたり、逆にインスリン・ワクチン等の冷蔵庫が氷点下を示している。
- ・冷蔵庫内に設置された毒薬保管用金庫内に、他の医薬品が入っており、肝心の毒薬（マスキュラックスなど）が外に出ている。
- ・ずらりと多規格のペン型インスリンが並んでおり、区別しにくい環境。
- ・扉が開いたままで、中が霜だらけの冷凍庫。

大丈夫と書いていても、時々冷蔵庫内の環境を確認してみたいはいかがでしょう。

自分の病棟以外の人など、他部署の人に確認してもらうようにしている医療機関もあります。

他部署の人だと、いつもと違う視点から確認できて良いかもしれませんね。

節電のため、我が家も中身を見直しました。

昨年、「トイレの神様」という歌が流行りましたね。

また、「片づけの妖精さん」とか言いますよね。

というわけで、「冷蔵庫の妖精」というスローガンはいかがでしょう？

冷蔵庫には それはそれはきれい好きな 妖精さんがいるんやで・・・

先日の大震災では、地震による被害や計画停電の対応等で、医療機関の皆様におかれましては大変なご苦労をされたことと思います。

冷蔵庫の温度管理でも、非常に大変だったと思います。本当にお疲れさまでした。

横浜市からも、東京電力やその他関係機関に、医療機関への電力供給や自家発電装置用燃料確保の要請等を強く行いましたが、結果として十分とは言えず、皆様にご迷惑をお掛けしたことをお詫び申し上げます。

## ★ 2. 医療安全情報 ★

- 平成22年度第2回横浜市立病院等安全管理者会議の内容をホームページに掲載しました！

### ◆ 横浜市立病院等安全管理者会議とは？

市内で発生した医療事故を契機に、市大病院・市立病院・中核病院等の安全管理担当者が集まり、医療安全に関する情報交換や研修を行うことを目的に平成12年度に設立されました。

内容は、横浜市立大学付属市民総合医療センターの寺崎先生による講義や、看護部会、放射線部会などの各部会の報告です。

みなさまの医療機関でも役に立つ内容がきっとあると思います。

ぜひホームページをご参照ください！

### ◇横浜市立病院等安全管理者会議ホームページ◇

<http://www.city.yokohama.jp/me/kenkou/soudan-madoguchi/anzenkanr isiyakaigi2.html>

### ■■■編集後記■■■

みなさま、大地震の前後で変わりなくこのメルマガを読んでいただけていることを大変うれしく思います。また、被災された方々につきましては心よりお見舞い申し上げます。

大変なニュースが現在も続いています。春は着実に進んでいて、桜も咲いてちょっとだけ心が温かくなりました。四季があるってすばらしいとしみじみ思うこのごろです。

私事ですが、最近辛い物が段々と食べられるようになって参りまして、はじめてインドカレー屋に食べに行きました。そこで新たに美味しいスイーツを発見。

「クルフィ」。

インドではメジャーなアイスのようなです。練乳の味が後をひきます。これからの季節にぴったり。自分でも作れそうなので今度挑戦してみようかと思いますが、みなさまも是非おためしあれ。

□□□ 編集長の編集後記 □□□

編集長の 船山 和志 です。みなさま震災の対応お疲れ様です。

突然ですが、他部署へ異動となり、今号を持ちまして、編集長を退任することになりました。

